

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類 (対象作物畜種等名)	作物等区分 (産地競争力の強化)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績 (平成20年)	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価 (※)	都道府県の評価(※)		
								計画時	(平成17年)	(平成18年)	(平成19年)	(平成20年)				目標値 (平成20年)	達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他
檜山	今金町(16今金)	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】 良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された。	草地造成改良0.40ha 草地整備改良74.32ha	42,820,000	21,409,000			21,411,000	平成19年3月30日		
網走	西興部村(16西興部)	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】 良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された。	草地造成(1.47ha) 草地整備改良(60.11ha) 畜舎整備(807.93㎡) 畜舎整備(1,195.11㎡)	270,091,000	135,043,000			135,048,000	平成19年3月30日		
十勝	上士幌町(17上士幌)	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】 良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された。	草地造成改良1.10ha 草地整備改良97.41ha	50,247,000	25,123,000			25,124,000	平成18年3月31日		
釧路	厚岸町(16太田)	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】 良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された。	草地整備改良 165.82ha	64,349,000	32,173,000			32,176,000	平成19年3月30日		
釧路	標茶町(16阿蘇内)	標茶町農業協同組合	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】 飼養頭数を61%増加	282頭	357頭	407頭	455頭	531頭	455頭	143.9%	飼養頭数が68.3%増加した	草地造成改良(1.0ha) 草地整備改良(19.56ha) 牧場用機械施設整備(附帯機械 2台)	52,795,000	24,966,000			27,829,728	平成19年3月31日		
根室	別海町(16美原)	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】 良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された。	草地造成(0.42ha) 草地整備(35.9ha) 搾乳舎整備(816.94㎡)	275,512,000	137,755,000			137,757,000	平成19年3月30日		
根室	中標津町(17豊岡)	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】 良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された。	草地造成改良 4.01ha 草地整備 15.04ha 家畜保護施設整備 1棟 768.9m <sup>2</sup> 家畜排せつ物処理施設 1棟 439.5m <sup>2</sup> 牧場用機械施設整備 7台	290,950,000	145,475,000			145,475,000	平成19年3月30日		
根室	根室市(16根室)	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】 良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された。	草地整備改良 198.48ha	96,198,000	48,098,000			48,100,000	平成19年3月30日		
空知	岩見沢市	いわみざわ農業協同組合	産地競争力の強化	土地利用型作物	土地利用型作物(麦)	品質向上	【土地利用型作物】 (麦産地品質向上) 契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が100%	99.9%	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が目標を上回った。	集出荷調整貯蔵施設 増設面積913m <sup>2</sup> 荷受設備25t/h×2系列 貯留設備5,000t 貯蔵設備12t/h×2系列 出荷設備20t/h×1 50t/h×1 搬送設備、集排塵設備、自主検査設備、動力設備、受電設備	1,239,231,000	575,000,000	100,000,000		564,231,000	平成19年3月15日		
網走	北見市	きたみらい農協	産地競争力の強化	土地利用型作物	土地利用型作物(麦)	品質向上	【土地利用型作物】 (麦産地品質向上) 契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が99.5%	99.4%	-	-	100.0%	100.0%	99.5%	600.0%	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が目標を上回った。	乾燥調整施設 工事棟5,097㎡、計量棟606㎡、荷受設備(受入口7カ所、貯留設備、60t×60、乾燥設備4基)、搬送設備40t/h、調製設備一式、集塵設備、トックスケーター3基、自主検定装置一式、付帯設備、電気設備、運搬費、組立搬付工事、貯蔵施設 サイロ基礎、搬送設備 60t/h、サイロ 650t×17基	4,609,500,000	2,195,000,000			2,414,500,000	平成19年2月28日		
上川	南富良野町	ふらの農業協同組合	産地競争力の強化	強作物地域特産物(馬鈴しょ)	強作物地域特産物(馬鈴しょ)	生産性向上	【各作物共通】 (病害虫による農作物被害の防止) ジャガイモシストセンチュウの新規発生率が1.5%未満	1.56%	-	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%未満	100%	ジャガイモシストセンチュウの新規発生率の目標を達成した。	車両洗浄設備 コンテナ殺菌施設 1棟 137.3㎡	60,375,000	28,750,000	14,375,000		17,250,000	平成18年12月22日		

支庁名	市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物 畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容						事業実施後の状況	成農目標の具体的な実績 (平成20年)	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価 (※)	都道府県の評価(※)	
							計画時	(平成17年)	(平成18年)	(平成19年)	(平成20年)	目標値 (平成20年)					達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
網走	北見市	常呂町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	畑作物・地域特産物(馬鈴しょ)	生産性向上	【各作物共通】(病害虫による農作物被害の防止)ジャガイモ・シメジの新規発生率が0.6%以内	0.61%	-	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%以内	100.0%	ジャガイモシメジの新規発生率の目標を達成した。	10,395,000	4,950,000			5,445,000	平成19年3月15日			
	倶知安町	ようてい農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	畑作物・地域特産物(馬鈴しょ)	需要に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物】(畑作物・地域特産物の戦略的地域の育成)馬鈴しょ全出荷量のうち契約取引の割合を4.6%増加	15.7%	-	23.6%	34.3%	26.5%	20.3%	234.8%	馬鈴しょの全出荷量のうち契約取引の割合が10.8ポイント増加した。	804,331,500	383,015,000			421,316,500	平成19年3月26日			
	函館市	新函館農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	野菜(野菜全般)	需要に応じた生産量の確保	【野菜】(契約取引の推進)事業実施地区において野菜全般の全出荷量のうち契約取引の割合を4.3%増加	6.8%	-	0.0%	12.0%	17.2%	11.1%	241.9%	野菜の全出荷量のうち契約取引の割合が10.4ポイント増加した。	33,075,000	14,886,000			18,189,000	平成19年3月28日			
	更別村	更別村農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	野菜(きょうべつ)	品質向上	【野菜】(高付加価値化)出荷量の全量を高品質化	0.0%	-	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	出荷量の全量を高品質化した。	37,275,000	17,750,000			19,525,000	平成19年3月15日		
上川	富良野市上富良野町中富良野町南富良野町占冠村	ふらの農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	野菜(野菜全般)	需要に応じた生産量の確保	【野菜】(契約取引の推進)野菜全般の全出荷量のうち契約取引の割合が1.7%	29.7%	-	37.5%	51.5%	55.7%	31.7%	1300.0%	野菜全般の契約取引割合が26ポイント増加した。	340,200,000	162,000,000			178,200,000	平成19年3月15日			
日高	三石町	三石町	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	花き	品質向上	【花き】(高級花き等の生産(品質向上))取扱品目の全出荷量のうち高品質化取組割合が98.5%	95.0%	-	93.3%	98.7%	96.2%	98.5%	34.3%	高品質化取組割合が1.2ポイント増加した。	90,103,650	45,051,000		45,052,650		平成18年12月26日	H19年度の秀品率は98.7%と目標に目標を達成していたが、H20年度は、低温・日照不足等の自然条件による生育不足や疫病の発生等により影響を受けた。今後は、関係機関と連携した現地研修会などを通じて秀品率の向上を図り目標に向けて推進していく。		
十勝	清水町	十勝清水町農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	環境保全(小麦)(てん菜)(馬鈴しょ)(豆類)	農畜産業の環境保全	【環境保全】販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を1.4%増加	12.9%	-	13.0%	13.0%	15.0%	14.3%	150.0%	環境保全型農業に取り組む農業者率が、2ポイント増加した。	6,861,700	3,277,000			3,604,700	平成18年11月10日			
十勝	音更町	木野農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	環境保全(小麦)(てん菜)(馬鈴しょ)(豆類)(野菜)	農畜産業の環境保全	【環境保全】販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を10.6%増加	1.9%	-	9.9%	12.5%	10.9%	12.5%	84.9%	環境保全型農業に取り組む農業者率が、9ポイント増加した。	7,811,265	3,719,000			4,092,265	平成19年3月30日	ほ場の栽培環境が改善されたことで、過度な施肥や防除を防止し、適正輪作に取り組めるようになった。H20には目標戸数20戸に届かなかったが、H21には20戸増加し、35戸となり目標を達成している。	ほ場条件が改善され、環境保全を推進する農業者が増加した。H20においては目標戸数に到達しなかったが、H21は目標を達成する予定である。	
十勝	音更町	音更町農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	環境保全(小麦)(てん菜)(馬鈴しょ)(豆類)(野菜)	農畜産業の環境保全	【環境保全】販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を12.1%増加	8.6%	-	6.5%	25.6%	31.2%	20.7%	186.8%	環境保全型農業に取り組む農業者が、22.6ポイント増加した。	102,281,956	48,700,000			53,581,956	平成18年12月14日			
十勝	芽室町	芽室町農協(第1地区)	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	環境保全(小麦)(てん菜)(馬鈴しょ)(豆類)	農畜産業の環境保全	【環境保全】販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を5.1%増加	25.6%	-	28.2%	41.3%	37.7%	32.1%	186.2%	環境保全型農業に取り組む農業者率が12.1ポイント増加した。	4,253,155	2,025,000			2,228,155	平成19年3月5日			
十勝	芽室町	芽室町農協(第2地区)	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	環境保全(小麦)(てん菜)(馬鈴しょ)(豆類)	農畜産業の環境保全	【環境保全】販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を6.0%増加	31.0%	-	42.2%	48.8%	48.2%	38.6%	226.3%	環境保全型農業に取り組む農業者率が17.2ポイント増加した。	4,178,546	1,989,000			2,189,546	平成19年3月5日			
十勝	帯広市	帯広市川西農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的取組	環境保全(小麦)(てん菜)(馬鈴しょ)(豆類)	農畜産業の環境保全	【環境保全】販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を10.4%増加	2.9%	-	6.6%	13.5%	13.5%	13.3%	101.9%	環境保全型農業に取り組む農業者率が10.6ポイント増加した。	9,807,000	4,670,000			5,137,000	平成18年12月4日			

支庁名	市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成農目標の具体的な実績 (平成20年)	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価 (※)	都道府県の評価(※)	
								計画時	(平成17年)	(平成18年)	(平成19年)	(平成20年)	目標値 (平成20年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
網走	佐呂間町	浜幌農業生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	甘味資源作物・てん粉原料用いも産地再編整備(てん菜)	生産性向上	【甘味資源作物・てん粉原料用いも産地再編整備】年間労働時間を25.3%削減	8.15hr/10a	-	-	4.96hr/10a	6.28hr/10a	6.09hr/10a	90.8%	年間労働時間が1.87hr/10a削減した	自走式2趾ビートハーベスター 1台	32,550,000	10,659,000			21,891,000	平成19年6月20日		
十勝	本別町	本別農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	甘味資源作物・てん粉原料用いも産地再編整備(てん菜)	生産性向上	【甘味資源作物・てん粉原料用いも産地再編整備】年間労働時間を15.7%削減	17.35hr/10a	-	17.35hr/10a	16.16hr/10a	14.86hr/10a	14.63hr/10a	91.5%	年間労働時間が2.49hr/10a削減した	育苗土貯蔵庫1棟 291.6㎡ 甜菜播種プラント作業庫1棟 233.28㎡ 播種プラント機械一式	28,942,200	13,638,000			15,304,200	平成18年11月28日		
本庁	札幌市	ホクレン農業協同組合連合会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	甘味資源作物・てん粉原料用いも産地再編整備(てん粉原料用いも)	需要に応じた生産量の確保	【甘味資源作物・てん粉原料用いも産地再編整備】加工てん粉の生産量を67%増加	60.0t	-	87.5t	95.1t	60.4t	100.0t	1.0%	農産物処理加工施設 反応ガス洗浄装置一式、 タンク設備一式	36,330,000	17,150,000			19,180,000	平成18年10月20日	高耐熱性でてん粉の需要の伸長によりH18・19年の製造数量は順調に伸びてきたが、目標年においては、景気低迷における在庫消費の遅れから製造を調整せざるを得なかった。今後は内食の増加による需要回復が見込まれ、製造数量の確保に努めていく。	H18・19においては、価格が高く、需要が拡大傾向であったことから、87.5t及び95.1tまで生産を伸ばすことができた。H20は、世界的な景気低迷もあり、生産数量は減少したが、需要先への消費の促進、需要の喚起による製造数量の増加に向けた取組を強化していく。	
上川	富良野市 上富良野町 中富良野町 南富良野町	ふらの農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増野菜(たまねぎ)の取組	輸入急増野菜(たまねぎ)	輸入急増野菜(たまねぎ)の取組	【輸入急増野菜(たまねぎ)の取組】(契約取引の推進)たまねぎの契約取引割合が19.4%	15.2%	-	18.2%	23.4%	21.2%	19.4%	142.9%	たまねぎの契約取引割合が6ポイント増加した。	集出荷貯蔵施設(CA冷蔵貯蔵施設) 1棟 3,118㎡	749,700,000	357,000,000			392,700,000	平成18年11月2日		
網走	美幌町	美幌町農協	産地競争力の強化	輸入急増野菜(人参)の取組	輸入急増野菜(人参)	輸入急増野菜(人参)の取組	【輸入急増野菜(人参)の取組】(契約取引の推進)人参の契約取引割合が43.0%	0.0%	-	0.0%	18.3%	19.4%	43.0%	45.0%	契約取引割合の達成率は、45%にとどまった。	人参洗浄選別施設 1棟 120㎡/日 人参ハーベスター 3台 30%/台	691,950,000	289,969,000			401,981,000	平成19年3月9日	施設の導入により、収穫日時の選別・予冷が可能となり品質が安定し、実需の評価が高くなっている。契約取引数量については、H20は道外業者との契約が成立しなかったため目標を達成できなかったが、H21は道外業者との契約が成立し、新たな道内取引先も確保できたことから、目標は達成できる見込みである。	施設の導入により、収穫日時の選別・予冷が可能となり、選果処理能力や選別精度の向上が図られ品質が向上し実需からの評価が上がっている。契約取引の不成立があったため、目標は達成できなかったが、H21は道外業者との契約が成立し、新規道内取引先も確保できたことから、目標は達成できる見込みである。
日高	門別町	門別町農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増野菜(ねぎ)の取組	輸入急増野菜(ねぎ)	輸入急増野菜(ねぎ)の取組	【輸入急増野菜(ねぎ)の取組】(高付加価値化)ねぎの品質・鮮度保持に優れたFGフィルムの利用割合が67.1%	62.9%	-	69.5%	68.4%	56.4%	67.1%	-154.8%	FGフィルムの利用割合が65ポイントとなった。	選別機1台 包装機1台	25,179,000	11,990,000			13,189,000	平成18年9月15日	H19年度のフィルム利用率は68.4%と順調に目標を達成していたが、H20年度は、出荷先である本州市場が地産地消が盛んなため発注量が減った影響がでた。今後は、道内販売においてもフィルム包装を推進し、美味ネギ君ブランドを定着させていく。	本州産ネギの豊作を受けて、主要販路である本州市場での取扱減少により利用率が減少した。作付面積、生産量は増加しているが地産地消が盛んなため発注量が減った影響がでた。今後は、道内販売においてもフィルム包装を推進し、美味ネギ君ブランドを本州はもとより道内においてもPFI販路を拡大していく指導していく。
十勝	音更町	音更町農協	産地競争力の強化	輸入急増野菜(人参)の取組	輸入急増野菜(人参)	輸入急増野菜(人参)の取組	【輸入急増野菜(人参)の取組】(低コスト化)人参の10a当たり労働時間を36.9%削減	40.1hr/10a	-	18.4hr/10a	18.40hr/10a	18.40hr/10a	25.3hr/10a	146.6%	生産者の労働時間が21.7hr/10a削減した	人参収穫機 5台 人参収穫機 6台	74,287,500	35,375,000			38,912,500	平成19年3月30日		
渡島	八雲町	北渡放牧研究会	産地競争力の強化	飼料増産(乳牛)	飼料増産(乳牛)	飼料増産(乳牛)	【飼料増産(乳牛)】飼料自給率が10%増加	61.0%	-	61.0%	63.0%	69.0%	67.0%	133.3%	粗飼料自給率が11.3%向上した	放牧利用条件整備 ・隔離物整備 ・牧道整備 ・給水設備整備	4,537,314	2,268,000			2,269,314	平成19年3月30日		
留萌	天塩町	天塩町農業協同組合	産地競争力の強化	飼料増産(乳牛)	飼料増産(乳牛)	飼料増産(乳牛)	【飼料増産(乳牛)】飼料自給率が10%増加	53.0%	-	54.0%	57.0%	63.2%	63.0%	102.0%	粗飼料自給率が10.2ポイント向上した	放牧利用条件整備 ・牧柵設置 ・牧道整備 ・用水施設整備 ・草場簡易更新 ・避難小屋設置 ・パドック整備 ・草架設置	10,525,200	5,012,000			5,513,200	平成18年9月30日		
十勝	足寄町	自然循環放牧農の会	産地競争力の強化	飼料増産(乳牛)	飼料増産(乳牛)	飼料増産(乳牛)	【飼料増産(乳牛)】飼料自給率が10%増加	65.0%	-	69.0%	71.0%	74.0%	75.0%	90.0%	粗飼料自給率が9ポイント向上した	放牧利用条件整備 ・隔離物整備 ・牧道整備 ・給水設備整備	10,520,315	5,012,000			5,508,315	平成18年11月29日		

(都道府県名:北海道)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類 (対象作物畜種等名)	作物等区分 (政策目標)	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成興目標の具体的な実績 (平成20年)	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価 (※)	都道府県の評価(※)	
							計画時	(平成17年)	(平成18年)	(平成19年)	(平成20年)	目標値 (平成20年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
根室	別海町	(有)ジェイエーワンプ	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料増産(牧草)	生産性向上 【飼料増産】 受益面積を49.5%増加	345.1ha	-	439.8ha	494.9ha	523.7ha	516.0ha	104.5%	受益面積が51.8%増加した	スラリータンカー1台	11,340,000	5,307,000			6,033,000	平成18年10月6日		
網走	大空町	東葉等科農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料増産(飼料作物)(乳用牛)	生産性向上 【飼料増産】 受託面積を23.8%増加	727.0ha	-	854.5ha	837.0ha	989.0ha	900.0ha	151.4%	受託面積が目標を上回った。	自走式モアコンディショナー1台	32,025,000	10,166,000			21,859,000	平成19年3月19日		
十勝	浦幌町	浦幌町農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	多角的農作業コントラクター育成(飼料作物)	生産性向上 【多角的農作業コントラクター育成】 収穫作業の受託面積を30.7%増加	1,300.7ha	-	1,474.8ha	1,530.2ha	1,337.3ha	1,700.0ha	9.2%	収穫作業の受託面積が2.8%増加した。	自走式フォーレージハーベスター1台 自走式モアコンディショナー1台 ピックアップアタッチ1台 メスアタッチ1台 ハタタンクウォン1台	73,069,500	22,788,000			50,281,500	平成18年6月2日	H18、19年と受託面積は順調に増加してきたが、H20は受益戸数の減と収量の大幅増により受託面積が減少した。今後、関係機関と連携して、委託農家を増やす取組を実施していく。H21は委託農家は2戸増えている。	受益戸数の減と収量の変動により受託面積が減少したが、高齢化・後継者不在労働力不足の改善が図られてきており、今後も受益農家の増加が見込まれており、計画達成に向けて指導していく。